

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和2年2月25日（火）
- 2 確認箇所  
FPCポンプ室・FPCプリコート室近傍（6号機原子炉建屋内）
- 3 確認項目  
6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ停止の再発防止対策の状況等

### 4 確認結果の概要

令和元年12月25日に6号機の使用済燃料プール冷却浄化系（以下、「FPC」とする。）ポンプ（A）が、ろ過脱塩器（以下、「F/D」とする。）の切替作業中に自動停止する事象が発生した。<sup>※1</sup>

当該事象の原因は、F/D通水前にFPCポンプを停止させるインターロック<sup>※2</sup>を一時的に解除する必要があったが、手順書にその記載がなかったことから解除せずにF/Dの通水操作を実施したことである。

本日は当該事象の再発防止対策の状況を東京電力から聞き取るとともに、FPCポンプ及びF/Dの制御盤等の状況を確認した。

- ※1 使用済燃料プールの水はプール水位を保つためにプール側壁の上部に設置したせきからオーバーフローさせている。オーバーフローしたプール水は、スキマサージタンクに貯められ、ろ過脱塩器で処理後に再度使用済燃料プール水の補給水として使用される。なお、今回は切替作業の過程で一時的にバイパスラインに通水していた。（図1）
- ※2 誤った操作によるトラブルを防止するシステム。今回の場合、F/D出口弁が「閉」の状態でもF/Dに通水するとポンプ保護のためにポンプを自動停止させる設定としていたことから、あらかじめ解除しておく必要があった。（図2）

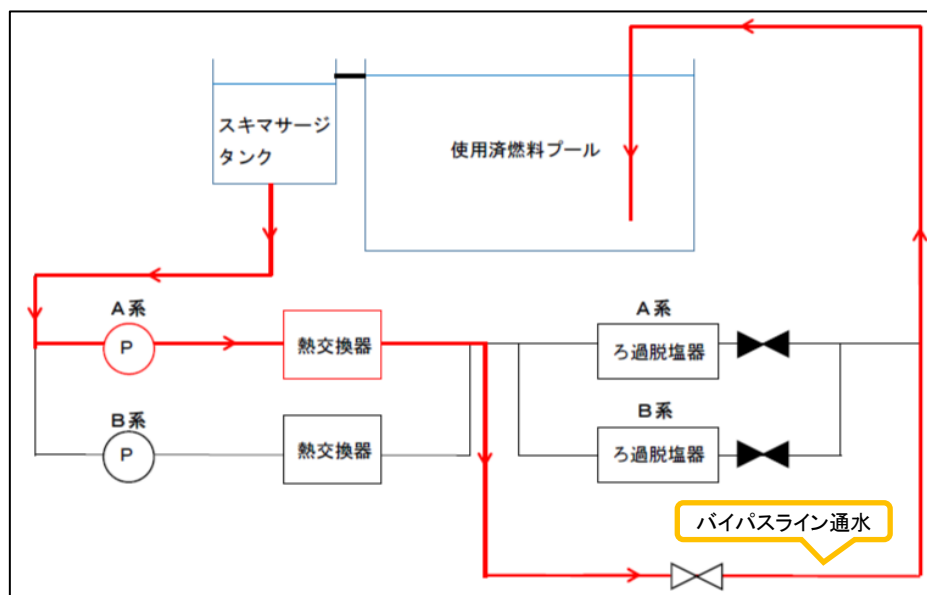
### <聞き取り結果>

- ・再発防止対策としては「手順書の改訂」及び「インターロックの改良」を検討中であり、現在その作業を実施している。
- ・また、当該事象については2月上旬までに関係者に対して周知及び注意喚起を実施した。

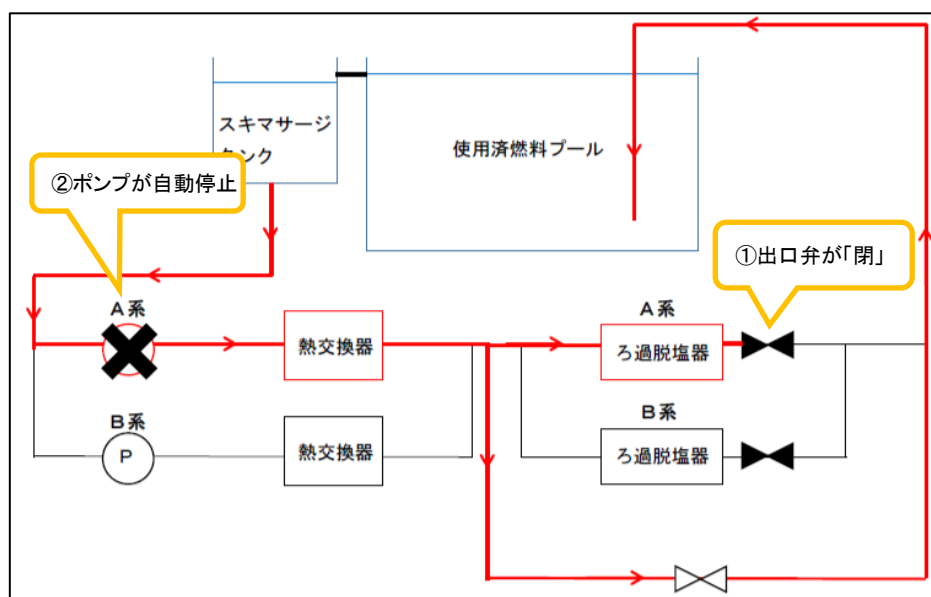
### <現場確認結果>

- ・流量計等の計器周囲は仮置禁止とされており、計器は人の接触による誤動作を防ぐために金網等で保護されていた。（写真1）

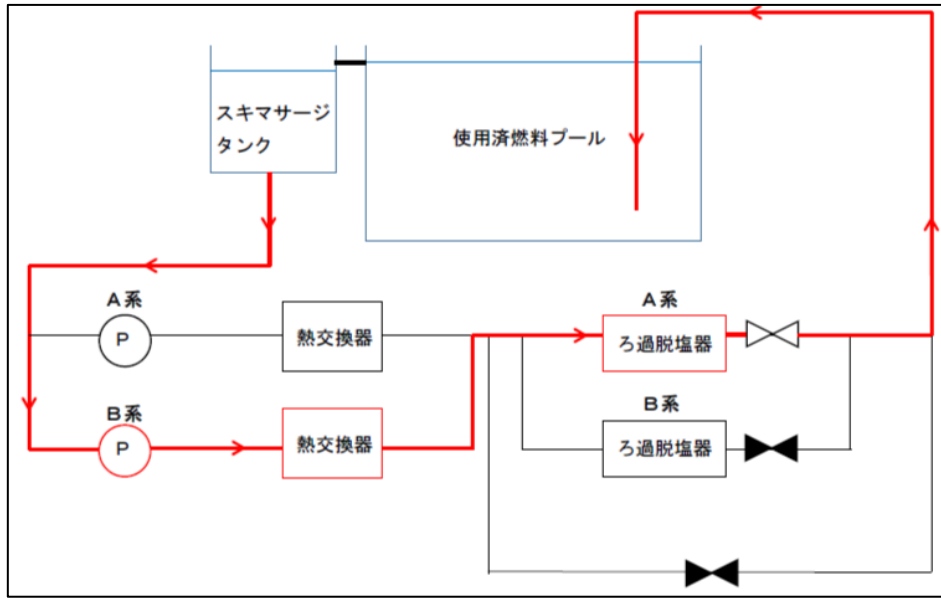
- F P C ポンプ及びF/D制御盤周囲も仮置禁止とされており、制御盤周囲が柵で囲われていた。(写真2)
- 制御盤を確認したところ、F P Cポンプ (B) とF/D (A) に運転中のランプが点灯しており、問題なく稼働していた。(図3、写真3)



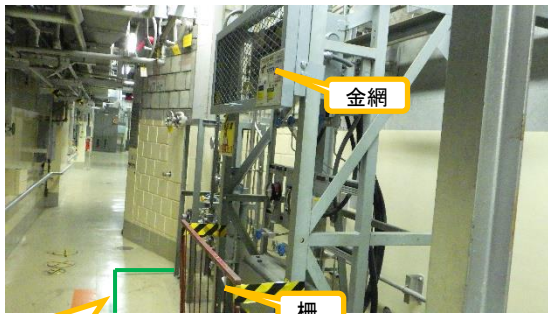
(図1) F/D通水直前のF P C系統概要図



(図2) F/D通水直後(インターロック作動時)のF P C系統概要図



(図3) F/D通水後のFPC系統概要図



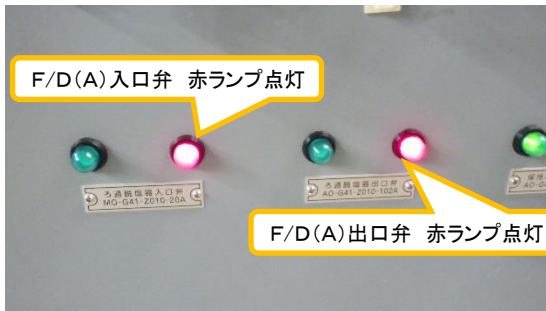
(写真1)  
計器周囲の状況



(写真2)  
FPC及びF/D制御盤周囲の状況



(写真3-1)



(写真3-2)

赤ランプは運転中を示す

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。